

【解答は別紙の解答用紙に記入すること。】

【問題】 次の文を読んで、和歌のやり取りを中心にその内容を解説するとともに、文学と「コミュニケーション」ということについて、日本文学の作品に即しつつ、自由に論ぜよ。

昔、男、宮仕へしける女の方に、御達なりける人をあひしりたりける、ほどもなく離れにけり。同じ所なれば、女の目には見ゆるものから、男は、あるものかとも思ひたらず。女、

あまぐも

天雲のよそにも人のなりゆくかさすがに目には見ゆるものから

とよめりければ、男、返し、

天雲のよそにのみしてふることはわがゐる山の風はやみなり

とよめりけるは、また男ある人となむといひける。

【注】 御達 ― 身分の高い女房